

バリアフリー化推進功労者表彰記念盾 贈呈時の写真



国土交通省静岡国道事務所長→静岡鉄道(株)常務取締役



国土交通省静岡国道事務所長→静岡市副市長



左から国土交通省静岡国道事務所長、静岡鉄道(株)常務取締役、静岡市副市長



列席者の皆様

静岡鉄道（株）大杉常務のコメント

- 今回のコンセプトは街をもっともっと元気にしようということです。
今までのように駅からセンターにきて終わりではなく、中央コンコースを設けて鷹匠界隈まで拡げようという考え方とバリアフリー化です。
- この二つのことを意識し、コンコースを設けたりバスや電車の乗り換えがスムーズになるよう設計しました。
- このため、身障者の方達と意見交換し、バリアフリーについての考え方の違いを勉強させていただいたりもしました。
- みなさんにきていただける楽しい街にして、消費もしていただきたいと考えています。
街の活性化がなければ我々の成長もない。
- どこに住んでいるの？と聞かれて胸張って静岡に住んでいると言えるよう今後も発展できるよう微力ながら寄与していきたい。

静岡市山本副市長のコメント

- 静岡鉄道さんが進めた再開発とあわせた周辺の電線類地中化や、周辺交差点平面横断の社会実験の取り組みなど、歩いて楽しいまちづくりを官民連携のもとで進めています。
官民連携という観点で賞をいただいたことはありがたいこと。
- バリアフリーについては市内5地区で基本構想を策定しており、静岡駅周辺地区が一番重要な箇所として重点的にバリアフリー化を進めています。今後も静岡鉄道さん始め事業者の方々といっしょに進めてまいります。
- 静岡国道さんには、道路のバリアフリー化について熱心に進めていただいております。静岡駅周辺を始め市内各所で様々な事業を行っていただいております。バリアフリーという観点でも市の手本となるような整備を進めていただき、今後も連携してより効果が上がるようにしていただけるとありがたい。